

医療安全情報 レポート Vol.16

働くみんなの医療安全

今回から『薬剤の投与・管理』をテーマに2回にわたり取り上げていきます。

【今号はインスリンについて・・・】

インスリンは投与量が単位（Unit）で設定されていること、製剤の種類が多いこと、投与方法が患者による自己注射も多様であること、投与量の変更が多いことなどから、医療事故およびヒヤリ・ハット事例が多数日本医療機能評価機構に報告されています。

その一例には、インスリンの単位を誤認し、過量投与に伴い低血糖や死亡に至った事例が報告されています。今回は、改めてインスリンに関するインシデント予防のポイントをまとめてみました。

POINTその1 インスリン投与時は、製剤名だけでなく、効果の現れ方も確認しましょう！

*インスリン製剤は5つのタイプ

①超即効型 ②即効型 ③中間型 ④混合型 ⑤持効型

POINTその2 インスリン単位

製品の濃度は、**100単位（Unit）/mLです！**

注意！ ~~1単位=1mL~~

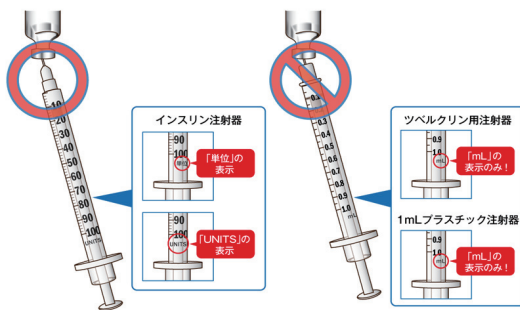


1バイアル1000単位(10ml)
インスリン100単位/ml

POINTその3 バイアル製剤インスリンを投与する場合には、**専用の注射器を使用しましょう。**

【インスリン専用シリンジ】

【汎用シリンジ】



【安全使用のポイント】

*インスリン注射器には、3タイプあるため要注意！

「1本 30単位」
「1本 50単位」
「1本100単位」



正確な量を投与するためには目盛をきちんと合わせダブルチェック!!

医療看護安全委員会より お知らせ

9月14日・15日“医療安全管理者研修会”2日目に、管理者同士で、自施設内で困っている事や、悩んでいる事など、みんなで話し合ってみませんか？ 一時間ほどの座談会を企画していますので、参加お待ちしております！